



# HAKUBA H.S. Report Channel

白馬  
高校

白馬高校レポートチャンネル

令和3年8月16日（第160号）

発行：白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)

ホームページも  
ご覧ください⇒



## 7月6日 北米の高校生とのオンライン交流

2年普通科文理コースのコミュニケーション英語Ⅱを受講する生徒15人が1人1台タブレット端末を使用して、アメリカ・カナダの高校生35人とオンライン交流を行いました。交流相手の高校生は北米で毎年開催される日本を題材にしたクイズ大会「ジャパン・ボウル」の成績優秀者であり、白馬高生は日本のアニメに関するクイズを出題したり、相手の高校生の「日本語を学ぶ意味」と「海外からみた日本料理」という2つの発表を聞いたりしました。

2回行われたフリートークでは、初めは不安そうな表情をみせていた生徒たちでしたが、趣味や現在取り組んでいることを話しているうちに徐々に緊張が解け、フリートークが終わった後には、「もっと話したかった」という声も聞こえてきました。また、生徒が得意のバク転を披露する場面もあり、画面越しながらも大いに盛り上がりました。



交流を行った生徒たちは、同年代の高校生が日本語を流ちょうに話す姿をみて大きな刺激を受け、司会を務めた生徒からは「(彼ら彼女らにとって) 外国語である日本語をあんなに流ちょうに話せるなんてすごい。自分も英語を使ってもっと話せるようになりたい。」という感想があがりました。

## 7月19日 薬物乱用防止教育



学校薬剤師の山本美峰里さんを講師としてお招きし、1、2年生を対象に薬物乱用防止教育を行いました。山本さんには、薬物やその他依存性のあるタバコや市販薬の危険性を実際の写真を交えながら説明していただきました。薬物の乱用がもたらす影響の一例として、漢字が書けなくなったり、きれいな丸が書けなくなったりするようで、薬物乱用者が書いた実際の手紙の写真をみた生徒たちは、驚きの表情を見せていました。



また、若者を中心に人気のエナジードリンクにも依存性があり、エナジードリンクの過剰摂取はカフェイン中毒などの重大な健康被害をもたらすことが紹介され、依存症が自分たちの身近なところに潜んでいることが生徒にも十分伝わったと思います。最後に山本さんから、薬物乱用から自分を守るために、たとえ仲間からの誘いであっても「ハッキリ・キッパリ」断り、「その場から離れる」ことが大切であり、日頃から目標をもって前向きに生活することが、ひいては自分自身と自分の未来を守ることにつながるといってお言葉をいただき、薬物乱用防止教室を締めくくっていただきました。

## 7月21日 終業式

令和3年度1学期終業式を体育館で行いました。初めに、学校長から生徒自身に自分の1学期を振り返り自己評価するよう問いかけがあり、生徒たちは突然の問いに戸惑いながらも、各々これまでであったことや自分の取り組みを振り返り、持参した紙に評価点を記入していました。続いて、「学ぶことの面白さ」についての講話がありました。講話の中では、探究的な学びのすすめから、そのような学びを支えるツールや夏休みのおすすめの本の紹介があり、メモをとる生徒の姿も多く見られました。

最後に、学校長から全校生徒に夏休みの宿題が出されました。それは、普段から様々な場面でお世話になっている白馬・小谷の地域の方々に対して、個人・クラス・学校全体でできることをそれぞれ考えてくるというものです。「白馬高生の恩返し」と名づけられたこのプロジェクト。生徒からどんなアイデアが出てくるのか楽しみです。

